

## SIG 姿勢保持講習会 2024 に参加して

三浦 巨貴

日進医療器株式会社 開発部 設計課

### 1. はじめに

2024年8月3日～4日に障害者スポーツ文化センター 横浜ラポールで開催されたSIG 姿勢保持講習会 2024に参加したので報告する。会場には、リハビリテーションに関わる様々な職種が集まり、一日目に講義、二日目には参加者同士でのグループディスカッションが行われた。

筆者は車椅子メーカーで設計・開発の業務を担当しており、機体をどのように製作するかを考える立場にある。一方、本講習会には、実際の姿勢保持の現場で活躍されている方々が多く参加していた。対象者に対して「どんな車椅子が必要か」という製作のインプットとなる部分を知る機会になったため、本講習会への参加は非常に貴重であった。

### 2. 講義の内容

1日目の講義は、講師の方々がこれまでに取り組んだ事例の紹介を交えて、姿勢保持の基礎的な考え方から、具体的な方法まで、幅広く解説して下さった。姿勢保持には、変形・拘縮を進行させないことや、摂食・嚥下をスムーズに行うこと等、様々な目的がある。その目的を達成し、対象者がより自発的に動くことができたり、コミュニケーションを可能にする等、日常生活をより豊かなものにするということが根幹にあると学んだ。

特に腹臥位に焦点を当てた講義では、そのメリットの多さに驚いた。腹臥位には気道狭窄や痰詰まりの改善、誤嚥を予防する等、多くのメリットがある。さらに抗重力を経験することで、立位の発達にもつながる。

前述した通り、目的に沿って日常生活に姿勢保持を適用させていく必要があるため、それぞれの姿勢のメリット・デメリットを理解して選択することが大切だと感じた。座位保持装置を取り扱うメーカーとして、姿勢保持の知見を深めていき、開発に活かしていきたい。勉強不足も実感したが、新たに知ることが多く、大変有意義であった。

### 3. グループディスカッション

2日目のグループディスカッションでは、1グループ十数名に分かれ、ある症例に対しどのような姿勢保持を適用するか議論した。まず対象者の状態や日常の過ごし方などの情報を基に、セラピストがどの部位をどのように支えると良いかを提案する。また日常の過ごし方から「安楽姿勢がとれるような機能が欲しい」、「テーブルをつけよう」等、姿勢保持装置の仕様を考える。最後にホワイトボードにまとめた意見を、班ごとに発表し合った。カッターを使用して、側弯を支持するためのウレタンを切り出す場面もあり、現場で行われていることを実際に見ることができた。

### 4. おわりに

筆者が在籍する日進医療器株式会社はオーダーメイド車椅子の製作を事業の一つとしている。その設計の元となる「オーダーメイド車椅子発注書」は車椅子販売店や義肢装具メーカーを介して我々の手元に届く。入社してからこれまで、発注書を見て図面を描く仕事をしてきたが、使用者がどのような障害を持っていて、どんな日常を送っているか知る機会は少ない。今回2日目に行われたディスカッションは、まさにその発注書ができ上がる過程であるため、非常に貴重な体験となった。

改めて、講師・運営スタッフの皆様には厚くお礼申し上げます。

日進医療器株式会社

〒481-8681 愛知県北名古屋市沖村権現 35-2